

# 令和2年度 第2回 鹿沼市総合計画審議会 議事録

## 1 概要

会議名	令和2年度 第2回 鹿沼市総合計画審議会
日時	令和2年11月6日（金） 14：00～15：30
場所	鹿沼市民文化センター 1階 大会議室
出席者	添付のとおり

## 2 内容（要旨）

項目
内容
会長あいさつ
<ul style="list-style-type: none"><li>・新型コロナウイルス感染症など厳しい時代であるが、市民が安心して暮らせる持続可能なまちの実現に向け、総合計画から市民協働の流れをしっかりと作っていきたい。</li></ul>
市長あいさつ
<ul style="list-style-type: none"><li>・先の見通しが立てづらい時代だからこそ、行政経営の羅針盤となる総合計画は重要性が増している。</li><li>・税制経営が厳しさを増す中、従来どおりの行政サービスを継続することが非常に困難となってきており、新たな時代の変化に柔軟に対応することが求められている。</li><li>・中身の濃い計画が策定できるよう特段の御支援御協力をいただきたい。</li></ul>
議事1 第1回審議会の振り返り
<ul style="list-style-type: none"><li>・【事務局】資料をもとに説明。</li></ul>
議事2 基礎調査結果
<ul style="list-style-type: none"><li>・【事務局】資料をもとに説明。</li><li>・【佐藤委員】類似団体（鹿沼市を含め44市）平均の算出について、鹿沼市を除く43市で平均値を算出したのはなぜか？ →【事務局】鹿沼市以外の団体群の中で鹿沼市がどこに位置付けられているのかを明らかにするためである。</li><li>・【増淵委員】数値の大きいほうが順位が高く記載されているが、数値が大きいほど良い指標と数値が低いほど良い指標があるのではないか？ →【事務局】数値が大きいほうが良いかどうかは主観的な判断であるため、ここでは数値が大きい順で統一して記載している。</li></ul>

次ページへ続く

- ・【上澤委員】大芦川について、アウトドアを満喫できるレジャースポットであると記載されているが、それほど多くはないのではないか？
  - 【増淵委員】市の作る資料は現実と違い見た目が良いものとなっている場合がある。大芦川については近隣住民への被害など負の側面も大きい。記載内容を考えるべきである。
  - 【事務局】あくまで地域資源という捉え方での表現であるが、御指摘の問題は行政も課題に感じており、庁内でプロジェクトチームを発足し検討を始めたところである。表現については修正させていただく。
- ・【西田委員】2011年度のデータがあり、古いように感じる。
  - 【事務局】総務省の統計オープンデータにおいて、全国的にデータが統一的な基準で取得できる最新のものが2011年である。基本計画策定段階では、担当課の持っているデータも含め、より詳細なデータを活用していく。
- ・【西田委員】土地利用について、可住地面積割合の水準が低く市街化調整区域面積の水準が高いことは市内の7割が森林に覆われているからだに記載されているが、記載ぶりについて要検討ではないか。
  - 【事務局】御指摘を踏まえて策定を進めていきたい。
- ・【佐藤委員】行財政について単純な比較ができないとの記載があるが、他に該当はないか。
  - 【事務局】それぞれの指標について、各市町村の培ってきた経緯などは様々であり、指標を見る上では、全体を見て指標の指している意味を分析することが重要である。
- ・【小太刀委員】一般健康診断の受診率はどこに記載があるのか。
  - 【事務局】御指摘の指標は含まれていない。今後、具体的な施策の検討段階で担当課と調整する。

### 議事3 WEBアンケート結果

- ・【事務局】資料をもとに説明。
- ・【佐藤委員】市民WEBアンケートの回答者に偏りがあるようだが。
  - 【事務局】御指摘のとおりである。今後、新型コロナウイルスの感染状況も注視しつつ、市民ワークショップや世論調査で幅広い年齢層・職業の市民の意見を収集したい。
- ・【増淵委員】中高生WEBアンケートについて、定住意向が4割以下という点は問題である。高校生との意見交換会ではショッピングモール誘致などを希望していたので、参考にしてもらいたい。

次ページへ続く

- ・【上澤委員】 中高生WEBアンケートで「買い物が不便、遊べる場所がない」という回答が多いが、その理由をもっと深掘りする必要があるのではないか。  
→【事務局】 新型コロナウイルス感染状況を注視しつつ、今後、中高生も含めた市民参画の機会を設け深掘りできるよう進めたい。
- ・【平野委員】 市民協働に関する設問から「市のイベントなど決められたものに参加する」という意味に捉えている印象を受けるが、市で平等なサービスを受けられない方をサポートすることが市民協働の本意と考える。
- ・【設楽委員】 高校生は約半数が市外在住であり、市外の高校生が鹿沼市をどう見ているかという点も重要である。  
→【事務局】 御指摘の内容を再分析し、計画の策定に活かしていきたい。
- ・【阪田委員】 アンケート結果より、市内に長く住んでいる方が多いことが分かる。また、結婚よりも離婚件数が多いことはポイントである。市内の男性に嫁いだ女性が離婚を機に市外へ転出しているのではないか。女性のネットワーク構築など離婚対策施策を検討してもよいのでは。  
→【事務局】 御指摘の事柄を検討していきたい。
- ・【佐藤議員】 都会の便利さや楽しさにあこがれている中高生が多いことがうかがえる。議会においても、若者が魅力と思える事柄を取り入れていく機運が高まっている。

#### 議事4 次期総合計画序論・基本構想骨子（案）

- ・【事務局】 資料をもとに説明。
- ・ 異議なく、全会一致で承認。

## 鹿沼市総合計画審議会 名簿

委員

(団体名五十音順)

No.	氏名	団体名	備考	出欠
1	阪田 和哉	国立大学法人宇都宮大学	1号委員	○
2	設楽 昭子	鹿沼市小中学校校長会		○
3	青柳 信一	鹿沼地区幼稚園連合会		○
4	菅俣 宗良	栃木県総合政策部		○
5	井戸 道廣	栗野商工会	2号委員	○
6	小曾戸 庸忠	栗野森林組合		×
7	野口 重彦	鹿沼ケーブルテレビ株式会社		×
8	奈良部 実	鹿沼市自治会連合会		○
9	葉山 廣	鹿沼市身体障害者親交福祉会		×
10	江田 光好	鹿沼市スポーツ協会		○
11	小杉 志津	鹿沼市男女共同参画社会づくり実行委員会		○
12	平野 克己	鹿沼市民活動サポーターズ		○
13	上澤 孝重	鹿沼市民生委員児童委員協議会連合会		○
14	小太刀 昌子	鹿沼商工会議所		○
15	小島 正男	鹿沼市老人クラブ連合会		×
16	渡辺 保	鹿沼市森林組合		○
17	内田 昭	鹿沼相互信用金庫		○
18	中新井 明	上都賀農業協同組合		×
19	矢野 省一	きれいなまちづくり推進員協議会		○
20	宇賀神 勝	栃木県建設業協会鹿沼支部		○
21	鈴木 教大	栃木県社会保険労務士会		○
22	西田 晃	栃木県宅地建物取引業協会		○
23	増渕 靖弘	鹿沼市議会	3号委員	○
24	鈴木 敏雄	鹿沼市議会		○
25	佐藤 誠	鹿沼市議会		○

(敬称略)